

# 静電気学会 2017 年度シンポジウム

## — 静電気工学が拓くナノバイオテクノロジー：細胞・分子操作の最新動向 —

- 日時 : 2017 年 11 月 20 日(月) 13 : 00~16 : 45  
会場 : 東工大蔵前会館ロイヤルブルーホール  
〒152-0033 東京都目黒区大岡山 2 丁目 1 0-1  
参加費 : 静電気学会正会員・賛助会員 : 8,000 円, 学生会員 : 3,000 円, 非会員 : 15,000 円, 非会員学生 : 5,000 円(当日受付にてお支払い下さい。)

### 開催主旨

近年、遺伝子の高速解析が可能となつてきており、病気治療等への可能性も高くなつてきています。また、iPS 細胞による再生医療も大きく注目されています。このような状況の中、静電気を利用した細胞・分子操作の技術は分野発展の為の大きな可能性を持っています。今回のシンポジウムでは静電気やその関連技術を用いた細胞・分子操作技術の最新の研究成果を発表して頂きます。また、本年度の静電気学会論文賞の記念講演も同時開催いたします。

プログラム : (演題、講演者等は都合により変更する事があります。)

13 : 00~13 : 05 開会挨拶

13 : 05~13 : 40 静電気力とレーザーを用いる個別細胞・DNA 一分子操作と応用  
豊橋技術科学大学 水野 彰

13 : 40~14 : 15 ナノバイオデバイスと AI が拓く Society 5.0:超スマート社会  
名古屋大学大学院工学研究科・医学系研究科 馬場 嘉信 先生

14 : 15~14 : 50 迅速で簡便な細胞操作法の「創る」と「測る」への応用  
兵庫県立大学大学院物質理学研究科 安川 智之

(14 : 50~15 : 10 コーヒーブレイク)

15 : 10~15 : 45 生体分子を操作する ※仮タイトル  
群馬大学 大重 真彦

15 : 45~16 : 20 定常直流電場とレーザー誘電場を用いた細胞操作の新たな試み  
同志社大学 剣持 貴弘

(平成 29 年静電気学会論文賞 記念講演)

16 : 20~16 : 50 水平電極式動電法(FEM-EK 法)を用いた汚染土壌の修復  
秋田大学大学院理工学研究科 カビール ムハムドゥル

16 : 50~16 : 55 閉会挨拶

17 : 00~19 : 00 懇親会

会場 : 東工大蔵前会館ロイヤルブルー精養軒  
〒152-0033 東京都目黒区大岡山 2 丁目 1 0-1

会費 : 5,000 円